

地対協コーナー

今号は、6月に開催した委員会等の報告をお届けします。令和5年6月16日には災害医療体制検討特別委員会を開催しました。災害時に医療機関の稼働状況などの情報を共有するツールとしてEMIS(Emergency Medical Information System: 広域災害救急医療情報システム)があります。今回の委員会では、第8次保健医療計画に向けた検討とともにEMISについても意見交換がされています。詳細は報告をご確認いただければと思います。

皆さまのご要望やご意見などがございましたら、遠慮なく、事務局までお寄せください。また、過去の各委員会活動などは、地対協ホームページ(<https://www.citaikyo.jp/>)へ掲載していますので、アクセスをお待ちしております。

○広島県地域保健対策協議会 監事会

日時: 令和5年6月15日(木)19時00分

場所: 広島県医師会館 3階 303会議室

令和4年度広島県地域保健対策協議会事業活動について報告後、一般会計及び特別会計の収支決算について説明し、いずれも4監事により承認された。

監査結果については、8月頃に開催予定の広島県地域保健対策協議会 令和5年度第1回常任理事会・定例理事会に付議する予定。

○災害医療体制検討特別委員会

日時: 令和5年6月16日(金)18時30分

場所: 広島県医師会館 2階 201会議室

委員長: 楠 真二

令和5年度の災害医療対策に係る訓練・研修計画と第8次広島県保健医療計画の策定に向けた方針について広島県から説明があったほか、EMISへの入力の意味について意見交換を行った。

報告事項

(1) 令和5年度災害医療対策に係る訓練・研修計画について

令和5年度に実施を予定している主な訓練と研修の具体的な実施内容について、広島県健康危機管理課から説明があった。訓練・研修テーマとして3つ、1. 保健医療福祉調整本部に関して実効性のある本部体制づくり、2. 各圏域単位での災害対応力の強化、3. EMISを用いての被害情報の迅速な情報収集の強化が挙げられた。

- ・保健医療福祉調整本部及び現地保健医療福祉

調整本部運営訓練(令和6年1月予定)

- ・県内医療機関一斉『EMIS緊急時入力訓練』

第1回: 令和5年6月21日(水)~6月30日(金)の間

第2回: 令和5年11月1日(水)~11月10日(金)の間

- ・二次保健医療圏別『医療機関災害対応研修』

(6月7日~県内すべての二次保健医療圏で開催)。

そのほか、「災害時におけるライフラインの応急復旧に係る検証」について説明があった。

(2) 国の示す指針等を踏まえた次期保健医療計画の策定について

第7次広島県保健医療計画の計画期間が令和5年度末で終了することから、次期第8次計画(令和6年度~令和11年度)を策定するために、医療法第30条の4第1項に基づく国の示す指針「医療計画」を踏まえ、また、広島県の最上位計画「安心▷誇り▷挑戦ひろしまビジョン」の目指す姿の実現に向けたものとするため、国の指針の要点等が広島県から説明された。本委員会では、9月頃に計画素案の策定を議題に検討し、12月頃計画最終案の策定を行う予定。

協議事項

(1) 第7次広島県保健医療計画(災害時における医療対策)の振り返りについて

第7次広島県保健医療計画の現状と課題、施策の方向性について説明があった。

委員からは、災害時医療救護活動マニュアル(令和4年4月)に記載されているEMIS入力の対象医療機関について、急性期から無床診療所も含め県内のすべての医療機関を対象とするよう、記載の変更を求める意見が挙げられた。

[委員の意見] EMIS入力は、診療所による入力情報自体が、災害の状況のひとつのモニター

になる側面があり、大切である。早くに面として災害を捉えるため、既存のツールを活用し、災害時には絶対にEMISに入力するよう記載した方がよい。

[広島県の考え] 災害急性期において、県の本部で情報収集する際、重点医療機関を定めるという方針から、優先的に対象を災害拠点病院、病院、透析医療機関と定めている。無床診療所については、亜急性期以降の対応として整理しており、マニュアルに反映できるかどうかは今後の検討課題とする。無床診療所においても入力は実施していただきたいという方針は変わらない。

[広島県医師会] 各種災害が起きたときには、まず、各地域の会員と医療施設の安否の確認を行っており、事業計画にも記載している。被害の状況を迅速におおざっぱにでもつかむことが大事であるため、マニュアル等にも反映させていくように医師会からもお願いしていきたい。

○第1回救急医療特別委員会

日時：令和5年6月21日(水)18時30分

場所：広島県医師会館 2階 201会議室

委員長：志馬 伸朗

第8次広島県保健医療計画（救急医療）の策定に向けた検討項目や策定スケジュール等について報告・協議が行われた。

報告事項

(1) 国の示す指針等を踏まえた次期保健医療計画の策定について

広島県健康危機管理課より、次期保健医療計画の策定に向けた取り組みについて説明があった。

令和5年度で第7次保健医療計画の期間が終了することから、令和6年度から令和11年度の6年間で計画期間となる第8次保健医療計画について、国の示す3つの基本指針を踏まえ検討する。救急医療は5疾病・6事業及び在宅医療の一つであり、施策や事業の結果のみならず、住民の健康状態や患者の状態といった成果に対してどれだけの影響を与えたかという観点から、現行の保健医療計画の成果を評価し、終了・見直し・継続すべき施策、新たに取り組む施策等を明確にするとともに、客観的、経年での比較が可能な指標による目標設定を行う。具体的には「救急医療機関の役割」「居宅・介護施設の高齢者

の救急医療」「ドクターヘリ・ドクターカー」「新興感染症の発生・まん延時における救急医療」の4つの論点に関する計画素案の策定を次回委員会の議題とする予定である。

今後のスケジュールとして、9月に第2回委員会を開催し、計画素案を議題とし、12月に第3回委員会を開催し最終案の検討を予定している。

協議事項

(1) 第7次広島県保健医療計画（救急医療）の振り返りおよび次期計画の方向性について

広島県健康危機管理課より、第7次広島県保健医療計画（救急医療対策）の取り組み状況の説明があった。

【1】適切な病院前救護活動が可能な体制づくりでは、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、救急蘇生法等の講習受講者数が大幅に減少していることから、救急医療への理解・救急蘇生法の普及の取り組みを継続する。

【2】救急医療機関への円滑な搬送と医療機関における受け入れ体制の確保では、今年度10月より救急搬送時に必須の業務である傷病者申し送り票のデジタル化・共有化を柱とした救急搬送支援システム実証実験を実施することから、実証実験の成果を踏まえ、救急搬送業務のデジタル化等、業務の迅速化や効率化につながる施策を検討する。

【3】重症度・緊急度に応じた医療が提供可能な体制づくりでは、県内の全ての救命救急センターが充実段階評価でA評価以上になっているが、応需率等で差が生じていることから救命救急センターのさらなる質の向上や応需率の平準化に向けた新たな取り組みを行うこととする。また、二次救急医療機関においては、医師の働き方改革の影響を踏まえた、休日・夜間における二次救急医療体制の確保を検討する。

【4】救急医療機関等から療養の場へ円滑な移行が可能な体制づくりでは、HM ネット普及の取り組みを継続し、参加施設、HMカードの登録者数が増えるような取り組みを行うこととする。

○がん対策専門委員会 膵臓がん早期発見推進WG

日時：令和5年6月28日(水)19時00分

場所：Web開催

(広島県医師会館 7階 702会議室)

WG長：岡 志郎

膵臓がんの早期診断を達成するためのHi-PEACEプロジェクトについて、現状の診療状況、取り組み状況等について情報共有した。

報告・協議事項

(1) 前回の議事概要について

前回の議事概要について、広島県健康づくり推進課より報告があった。地区医師会へのプロジェクトの説明状況についても報告があり、令和5年4月に広島市西区医師会への説明を行い、全ての地区医師会への説明を終えたことが報告された。

(2) 報告事項・議事

・現状について アンケート調査結果の一部紹介
期間にばらつきはあるが紹介症例は、広島大学病院は4ヵ月で85例、JA尾道総合病院は5ヵ

月で108例、広島赤十字・原爆病院は2ヵ月で63例、安佐市民病院は2ヵ月で58例であった。

・症例の登録について

プロジェクトで定めたリスク因子・画像所見からの膵臓がん疑いとした症例、かかりつけ医から中核病院へ紹介された症例について登録いただきたい。一次調査としての月1回の症例数の報告、二次調査としての6ヵ月に1回の転帰等の調査をお願いしたい。登録いただいた情報でプロジェクト開始1年後の中途解析を行う予定である。

・その他 (JA広島総合病院の取り組みについて)

当院では、糖尿病内科からの院内紹介例も多いことから院内Hi-PEACEを設けて対応している。かかりつけ医からの紹介患者、院内Hi-PEACE患者の初診は消化器内科の医師9名で分担して対応するようにしている。CTやMRI検査後は膵臓の専門医3名が担当することとしている。

また、紹介元であるかかりつけ医へのフィードバックとして地区医師会が主催する講演会において現状報告を行った。

県地对協からの提供資料について

県地对協では以下の県内共通クリティカルパス、パンフレット、マニュアル等を作成しています。ご入り用の際は下記事務局までご連絡ください。

【地域連携クリティカルパス】

- 乳がん患者さんのための「わたしの手帳Ver.7」
- 肺がん術後患者用「わたしの手帳Ver.3」
- 心筋梗塞・心不全 手帳 地域連携パス
- 心筋梗塞・心不全手帳の使い方 ご本人・ご家族用
- 前立腺がん 手帳 地域連携パス
- 甲状腺がん 手帳 地域連携パス
- 大腸がん 手帳 地域連携パス

- 大腸がん内視鏡治療後患者用手帳
- 胃がん 手帳 地域連携パス
- 胃がん内視鏡治療後患者用手帳

など

【パンフレット・マニュアル】

- ACPの手引き 「豊かな人生とともに…」

【事務局】 広島県医師会地域医療課 電話：082-568-1511 Eメール：citaikyo@hiroshima.med.or.jp



乳がん患者さんのための「わたしの手帳 Ver.7」



肺がん術後患者用「わたしの手帳 Ver.3」



心筋梗塞・心不全 手帳 地域連携パス



心筋梗塞・心不全手帳の使い方 ご本人・ご家族用



前立腺がん 手帳 地域連携パス



甲状腺がん 手帳 地域連携パス



大腸がん 手帳 地域連携パス



大腸がん 内視鏡治療後患者用手帳



胃がん 手帳 地域連携パス



胃がん 内視鏡治療後患者用手帳



ACPの手引き 豊かな人生とともに

など

※一部ホームページにて公開中

広島県 地对協

検索